

森林経営計画に関するアンケート調査結果

地区	回答者			会員全体								
	人数	回答率	所有面積 (ha) ※	人数	区分							所有面積(ha) ※
					A	B	C	D	E	F	G	
岐阜	7	35%	1,916	20	8	4	2	3	1		2	3,440
西南濃・揖斐	2	29%	650	7	3	1	2			1		915
武儀	2	50%	644	4	2		2					360
郡上支部	4	29%	1,137	14	5	2	3	2		1	1	2,450
可茂支部	5	29%	1,092	17	5	4	4	1	2	1		2,450
恵那支部	2	29%	92	7	7							210
下呂支部	15	58%	2,171	26	12	7	4	1		1	1	2,935
飛騨支部	6	38%	280	16	11	2	3					930
計	43	39%	7,982	111	53	20	20	7	3	4	4	13,690

※回答者の所有面積はアンケート報告より。会員全体の面積は以下の数値を暫定平均値として算出。所有している山林が所属している地区とは異なる場合があるので各地区の面積は不正確。

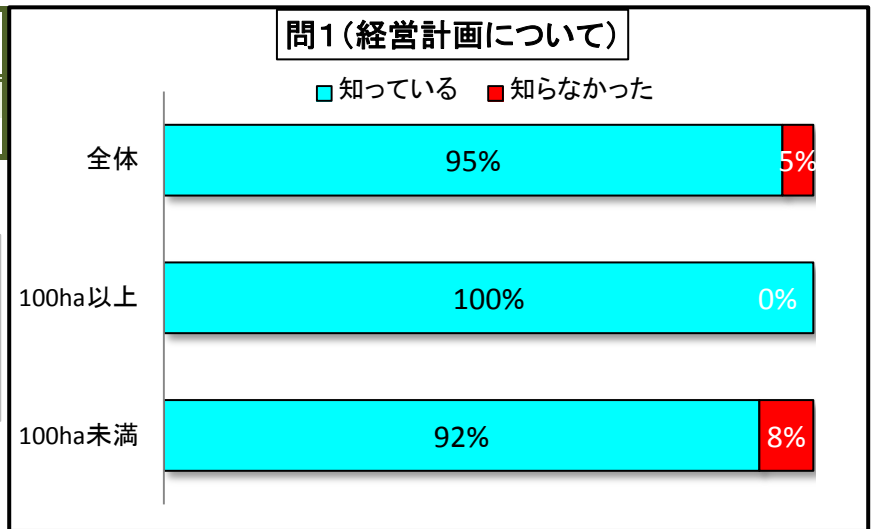
A B C D E F G
30 75 150 250 350 450 750 (ha)

【アンケート結果を100ha以上所有の会員とそれ未満の会員に区分】

問1.	区分	全体	100ha以上	100ha未満
	知っている	40	18	22
	知らなかった	2	0	2

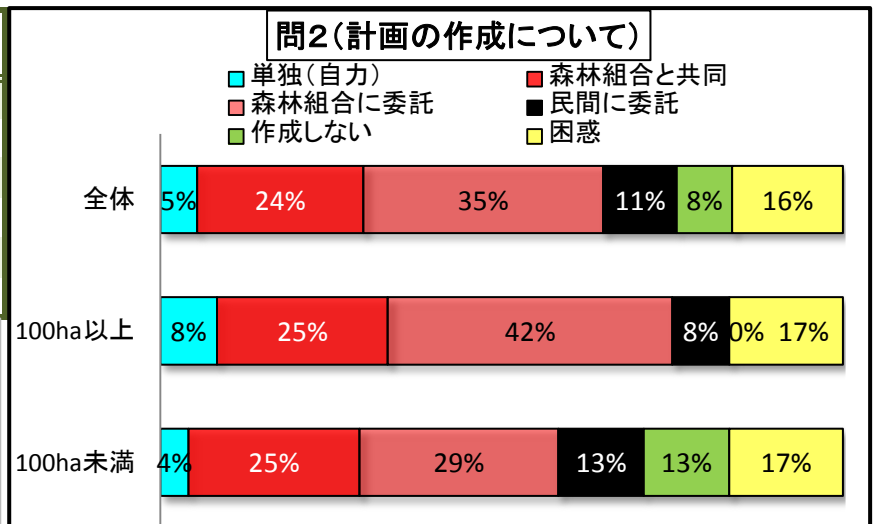
※所有面積無記名の会員が1名

計画自体については、ほとんど会員に認知されているものの、所有面積100ha未満の会員ではやや認知度は低い。(伝達されていない)



問2.	区分	全体	100ha以上	100ha未満
	単独(自力)	2	1	1
	森林組合と共同	9	3	6
	森林組合に委託	13	5	7
	民間に委託	4	1	3
	作成しない	3	0	3
	困惑	6	2	4

森林組合に委託、もしくは共同で作成する予定の会員が6割近くを占めており、大規模所有者である100ha以上の会員ではその比率がより高い。属人計画が作成できない100ha未満の会員では、現時点では属地計画も含め作成を断念する会員も存在する。



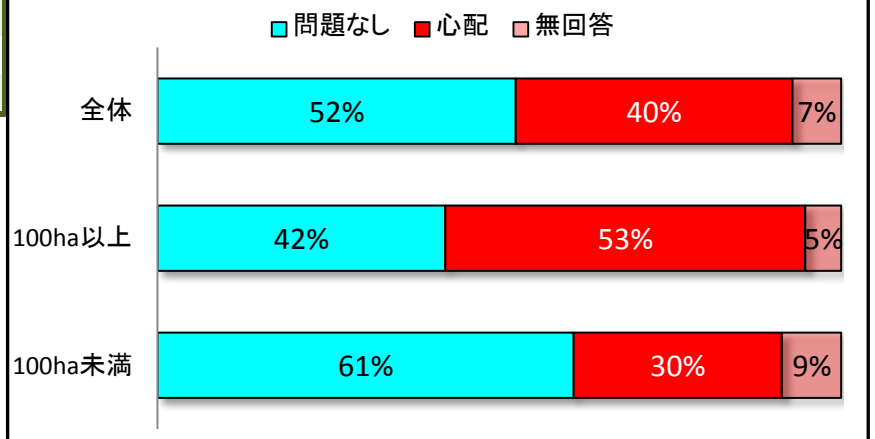
※無回答、複数回答者あり

問3.

区分	全体	100ha以上	100ha未満
問題なし	22	8	14
心配	17	10	7
無回答	3	1	2

大規模所有者である100ha以上の会員ではその面積の大きさのためか施業実施面積がノルマ化される間伐の実行に不安を持っている比率が100ha未満の会員より高い。

問3(間伐の実施基準について)



<その他の主な意見>

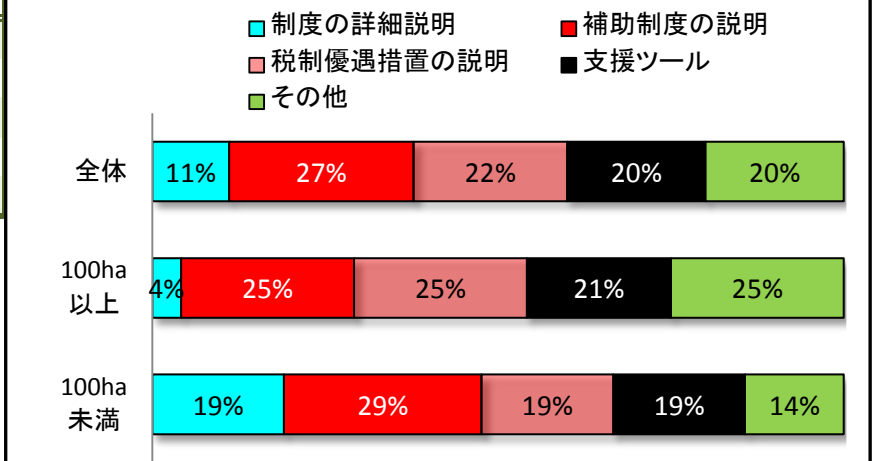
- 地形的な理由で搬出間伐が可能か(作業道が開設できるか)が不安。
- 補助金の確保ができるかどうか不透明であるのに計画を立ててよいか。
- 標準伐期齢以下の森林が多いと搬出間伐での採算が合わない。
- 実施基準が厳しい。
- 小規模所有者無視の政策。政策改定が多すぎる。
- 作業人員が確保できるかが不安。

問4.

区分	全体	100ha以上	100ha未満
制度の詳細説明	5	1	4
補助制度の説明	12	6	6
税制優遇措置の説明	10	6	4
支援ツール	9	5	4
その他	9	6	3

100ha以下の会員は当計画に関する説明会等に参加する機会が少ないと思われるため計画の詳細について説明を要望している会員の比率が100ha以上所有会員より高い。

問4(要望について)



※無回答、複数回答者あり

<その他の主な意見>

- 内容が複雑すぎる
- 元の施業計画に戻してほしい
- 当計画は今後も長期間継続されるのか不安
- 属地計画の場合、所有山林の整備を他の所有者と合わせなければならなくなるため従来のように本人の意思で施業できなくなる可能性がある